

防災コーナー

自主防災組織資機材 整備補助金の活用を

有備無患とは、「備えあれば患い無し」備えが有れば、いざという時にあわてることはない。この句は、中国の孔子の言葉である。

平成7年に発生した阪神淡路大震災では、生き埋めや家屋等の下敷きとなった方のうち、助かった約95%の人は、家族または隣近所の方々によって救助されている。

大規模な災害が発生した場合には、被害が広範囲にわたり、行政や警察、消防などの防災関係機関だけでは十分な災害応急活動はできない可能性もある。

このような大災害に備えて、自主防災組織の果たす役割は大きなものがあります。自主防災組織づくりは、既存の自



町の補助金で整備された防災倉庫、防災資機材

治会等の住民組織単位周防大島町では、自主防災組織を設立し、町から認定された自主防災組織へ防災資機材整備費や自主防災訓練の補助金が交付される。

まず自主防災組織を設立し、地域の防災力を高めるため、自主防災組織資機材や防災訓練の補助金を活用しよう。

詳しくは、役場総務課へお問い合わせください。

防災対策特別委員会

副委員長 吉田芳春

= 行政報告 =

情島小中学校が 休校

地域の皆さんに長年慕われている児童養護施設「あけぼの寮」の移転に伴い、隣接する情島小中学校が来年3月末に休校になります。



情島小中学校

周防大島町 プレミアム商品券の 利用状況について

販売実績	224,880千円
換金状況	
建設業・工務店等	62,507千円
モーターズ	39,955千円
スーパー	28,390千円
J A 山口大島	22,103千円
ホームセンター等	16,184千円
右記以外	55,494千円
総計	224,633千円
換金未済額	247千円